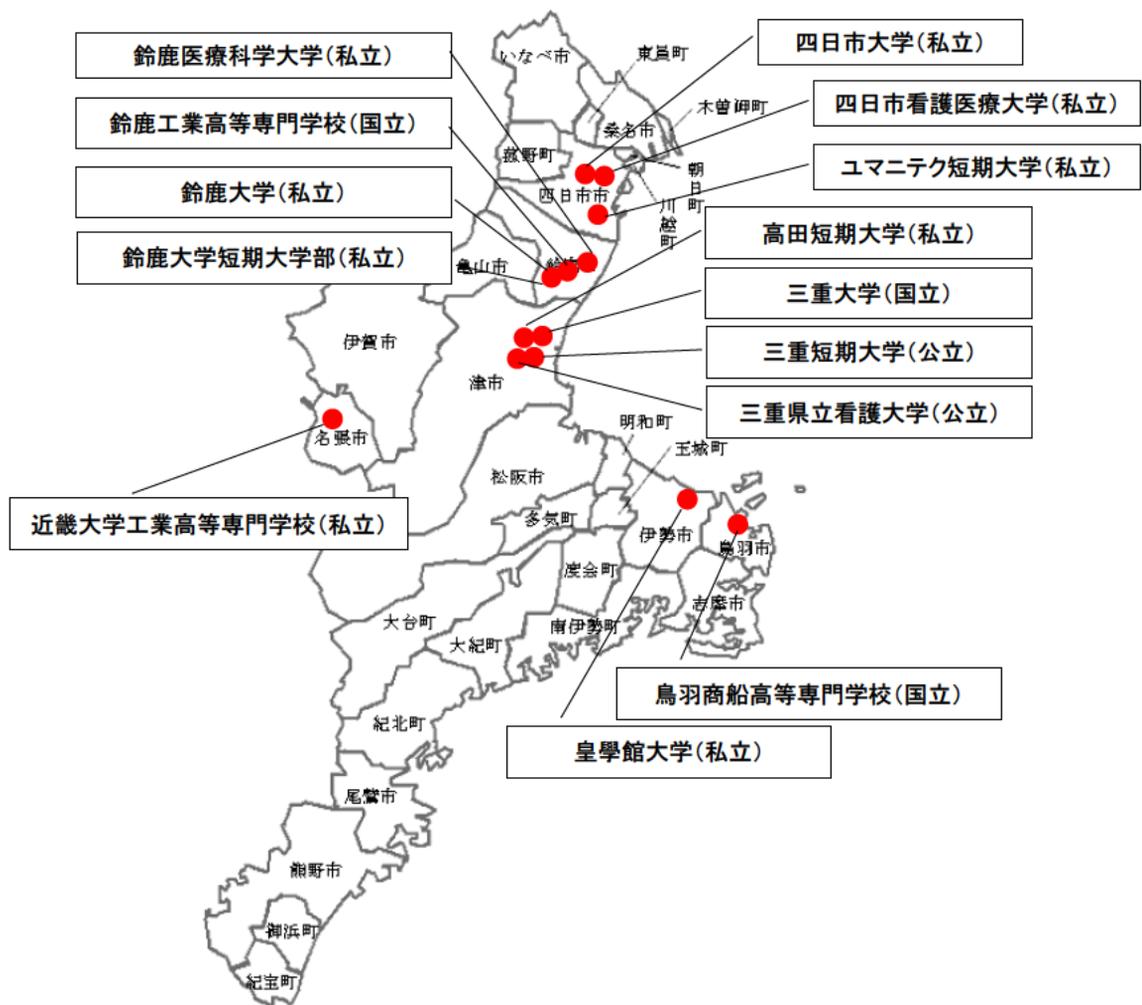


三重県における高等教育機関の現状

平成30年6月
三重県戦略企画部

1 県内高等教育機関の状況

● 県内高等教育機関の配置



● 高等教育機関の数に関する他府県との比較 (平成30年5月1日現在)

府県	大学				短大				高専			
	国立	公立	私立	計	国立	公立	私立	計	国立	公立	私立	計
三重県 (約185万人)	1	1	5	7	0	1	3	4	2	0	1	3
【総人口が類似の県】												
熊本県 (約182万人)	1	1	7	9	0	0	2	2	1	0	0	1
岡山県 (約195万人)	1	2	14	17	0	2	7	9	1	0	0	1
栃木県 (約201万人)	1	0	8	9	0	0	6	6	1	0	0	1
群馬県 (約201万人)	1	4	9	14	0	0	8	8	1	0	0	1
福島県 (約201万人)	1	2	5	8	0	1	4	5	1	0	0	1
【県境を隣接する府県】												
愛知県 (約741万人)	4	4	43	51	0	0	22	22	1	0	0	1
岐阜県 (約208万人)	1	3	8	12	0	1	10	11	1	0	0	1
滋賀県 (約141万人)	2	1	5	8	0	0	3	3	0	0	0	0
京都府 (約264万人)	3	4	27	34	0	0	13	13	1	0	0	1
奈良県 (約140万人)	3	2	6	11	0	0	4	4	1	0	0	1
和歌山県 (約100万人)	1	1	1	3	0	0	1	1	1	0	0	1

2 県内高等教育機関の基本情報

- 本県における高等教育機関の学部、学科及び収容定員（平成30年4月1日現在）

三重大学(国立大学法人) 創立：昭和24年

学部・学科等	収容定員
人文学部(文化学科)	412人
同(法律経済学科)	688人
教育学部(学校教育教員養成課程)	760人
同(人間発達科学課程)	40人
医学部(医学科)	750人
同(看護学科)	340人

学部・学科等	収容定員
工学部(機械工学科)	340人
同(電気電子工学科)	340人
同(分子素材工学科)	400人
同(建築学科)	180人
同(情報工学科)	240人
同(物理工学科)	160人

学部・学科等	収容定員
生物資源学部(資源循環学科)	276人
同(共生環境学科)	301人
同(生物圏生命科学科)	303人
同(生物圏生命化学科)	80人
同(海洋生物資源学科)	40人

【収容定員計：5,650人】

三重県立看護大学(県立) 創立：平成9年

学部・学科等	定員数
看護学部(看護学科)	400人

【収容定員計：400人】

四日市大学(私立) 創立：昭和63年

学部・学科等	収容定員
総合政策学部(総合政策学科)	640人
環境情報学部(環境情報学科)	320人

【収容定員計：960人】

四日市看護医療大学(私立) 創立：平成19年

学部・学科等	収容定員
看護学部(看護学科)	400人

【収容定員計：400人】

鈴鹿医療科学大学(私立) 創立：平成3年

学部・学科等	収容定員
保健衛生学部(放射線技術科)	403人
同(医療栄養学科・管理栄養コース)	163人
同(同・臨床検査コース)	170人
同(理学療法学科)	160人
同(医療福祉学科・医療福祉コース)	123人
同(同・臨床心理コース)	120人

学部・学科等	収容定員
同(鍼灸学科)	122人
医用工学部(臨床工学科)	165人
同(医用情報工学科)	122人
薬学部(薬学科)	600人
看護学部(看護学科)	320人

【収容定員計：2,468人】

鈴鹿大学(私立)

創立:平成6年

学部・学科等	収容定員
国際人間科学部 (国際学科)	420人
こども教育学部 (幼児教育学専攻)	160人
こども教育学部 (養護教育学専攻)	170人

【収容定員計:560人】

皇學館大学(私立)

創立:昭和37年

学部・学科等	収容定員
文学部(神道学科)	280人
同(国文学科)	320人
同(国史学科)	320人
同(コミュニケーション 学科)	320人
教育学部(教育学科)	840人
現代日本社会学部 (現代日本社会学科)	400人

【収容定員計:2,480人】

三重短期大学(市立)

創立:昭和27年

学部・学科等	収容定員
法経科第1部	200人
同・第2部	300人
生活科学科 食物栄養学専攻	100人
同・生活科学専攻	200人

【収容定員計:800人】

高田短期大学(私立)

創立:昭和41年

学部・学科等	収容定員
子ども学科	300人
キャリア育成学科(オ フィスワークコース、 介護福祉コース)	200人

【収容定員計:500人】

鈴鹿大学短期大学部(私立)

創立:昭和41年

学部・学科等	収容定員
生活コミュニケーション ン学科(こども学専 攻)	100人
同(食物栄養学専攻)	80人

【収容定員計:180人】

ユマニテク短期大学(私立)

創立:平成29年

学部・学科等	収容定員
幼児保育学科	200人

【収容定員計:200人】

鈴鹿工業高等専門学校(国立)

創立:昭和37年

学部・学科等	収容定員
機械工学科	200人
電気電子工学科	200人
電子情報工学科	200人
生物応用化学科	200人
材料工学科	200人
[専攻科] 電子機械 工学専攻	24人
[専攻科] 応用物質 工学専攻	16人

【収容定員計:1,040人】

鳥羽商船高等専門学校(国立)

創立:昭和42年

学部・学科等	収容定員
商船学科(航海コー ス、機関コース)	200人
電子機械工学科	200人
制御情報工学科	200人
[専攻科] 海事シス テム学専攻	8人
[専攻科] 生産シス テム工学専攻	16人

【収容定員計:624人】

**近畿大学工業高等専門学校
(私立)**

創立:昭和42年

学部・学科等	収容定員
総合システム工学科	800人
[専攻科] 生産シス テム工学専攻	36人

【収容定員計:836人】

● 県内高等教育機関の主な動きと入学定員の変遷(平成20年度～)

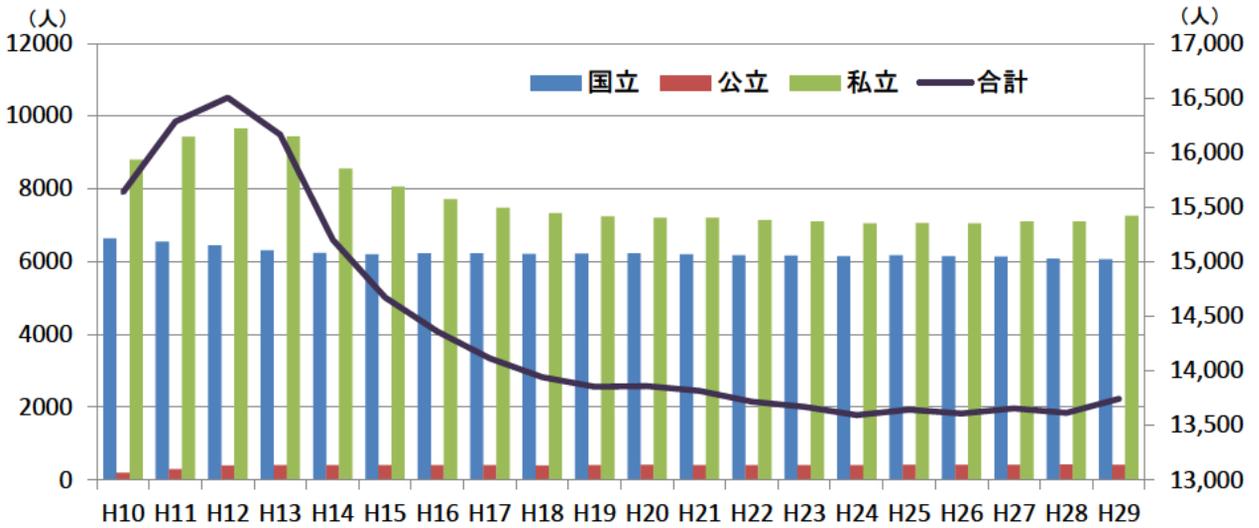
年度	高等教育機関の動向	入学定員
平成20年度 (2008年度)	<ul style="list-style-type: none"> ● 4月 三重大学、人文学部社会科学学科を法律経済学科に改称 ● 4月 鈴鹿国際大学、国際学部を国際人間科学部に名称変更 ● 4月 鈴鹿医療科学大学、薬学部を新設(+100) ● 4月 皇學館大学、文学部教育学科を教育学部教育学科に改組 ● 1月 皇學館大学、社会福祉学部学生募集停止と名張学舎の閉鎖発表 	大学:3,290名 短大:1,000名 高専: 480名 合計:4,770名
平成21年度 (2009年度)	<ul style="list-style-type: none"> ● 4月 鈴鹿医療科学大学、保健衛生学部医療福祉学科の入学定員を100名から60名に変更(▲40) ● 4月 三重中京大学及び同短期大学部、学生募集停止を発表 ● 6月 近大高専、熊野市からの撤退を発表 	大学:3,250名↓ 短大:1,000名→ 高専: 480名→ 合計:4,730名↓
平成22年度 (2010年度)	<ul style="list-style-type: none"> ● 4月 皇學館大学、社会福祉学部を学生募集停止(▲140)、現代日本社会学部現代日本社会学科を新設(+100) ● 4月 三重中京大学及び同短期大学部、学生募集停止(大学▲200、短大▲200) 	大学:3,010名↓ 短大: 800名↓ 高専: 480名→ 合計:4,290名↓
平成23年度 (2011年度)	<ul style="list-style-type: none"> ● 4月 鈴鹿医療科学大学、保健衛生学部医療栄養学科の入学定員を40名から80名に変更(+40) ● 4月 皇學館大学、名張学舎を閉鎖し、社会福祉学部社会福祉学科を現代日本社会学科に統合 ● 4月 近大高専、熊野市から名張市に移転 ● 10月 三重中京大学短期大学部が閉学 	大学:3,050名↓ 短大: 800名→ 高専: 480名→ 合計:4,330名↓
平成24年度 (2012年度)	<ul style="list-style-type: none"> ● 4月 鈴鹿医療科学大学、鍼灸学部を廃止。保健衛生学部鍼灸学科へ変更(±0) ● 4月 高田短期大学、人間介護福祉学科とオフィス人材育成学科を統合し、キャリア育成学科を設置(±0) 	前年度と同じ
平成25年度 (2013年度)	<ul style="list-style-type: none"> ● 4月 鈴鹿国際大学、観光学科の学生募集停止(▲60) ● 12月 三重中京大学が閉学 	大学:2,990名↓ 短大: 800名→ 高専: 480名→ 合計:4,270名↓
平成26年度 (2014年度)	<ul style="list-style-type: none"> ● 4月 鈴鹿医療科学大学、看護学部看護学科を新設(+80) 	大学:3,070名↑ 短大: 800名→ 高専: 480名→ 合計:4,350名↑
平成27年度 (2015年度)	<ul style="list-style-type: none"> ● 4月 鈴鹿国際大学、鈴鹿大学に名称変更。鈴鹿短期大学を鈴鹿大学短期大学部として統合。鈴鹿大学国際人間学部を改組し入学定員140を100名に変更(▲40)。鈴鹿大学短期大学部、生活コミュニケーション学科子ども学専攻入学定員70名を90名と変更(+20) 	大学:3,030名↓ 短大: 820名↑ 高専: 480名→ 合計:4,330名↓
平成28年度 (2016年度)	特に動きなし	前年度と同じ
平成29年度 (2017年度)	<ul style="list-style-type: none"> ● 4月 三重大学、生物資源学部生物圏生命科学科を生物圏生命化学科、海洋生物資源学科に改組(±0) ● 4月 四日市大学、経済学部の学生募集停止(±0) ● 4月 鈴鹿大学、こども教育学部を新設(+80) ● 4月 鈴鹿大学短期大学部、生活コミュニケーション学専攻を募集停止し(▲40)、こども学専攻入学定員90名を50名に変更(▲40) ● 4月 ユマニテク短期大学が開学(+100) 	大学:3,110名↑ 短大: 840名↑ 高専: 480名→ 合計:4,430名↑
平成30年度 (2018年度)	<ul style="list-style-type: none"> ● 4月 鈴鹿医療科学大学、保健衛生学部医療栄養学科臨床検査学専攻の入学定員40名を50名に定員増(+10) 	大学:3,120名↑ 短大: 840名→ 高専: 480名→ 合計:4,440名↑

● 県内高等教育機関の入学定員・入学者数・入学充足率の推移

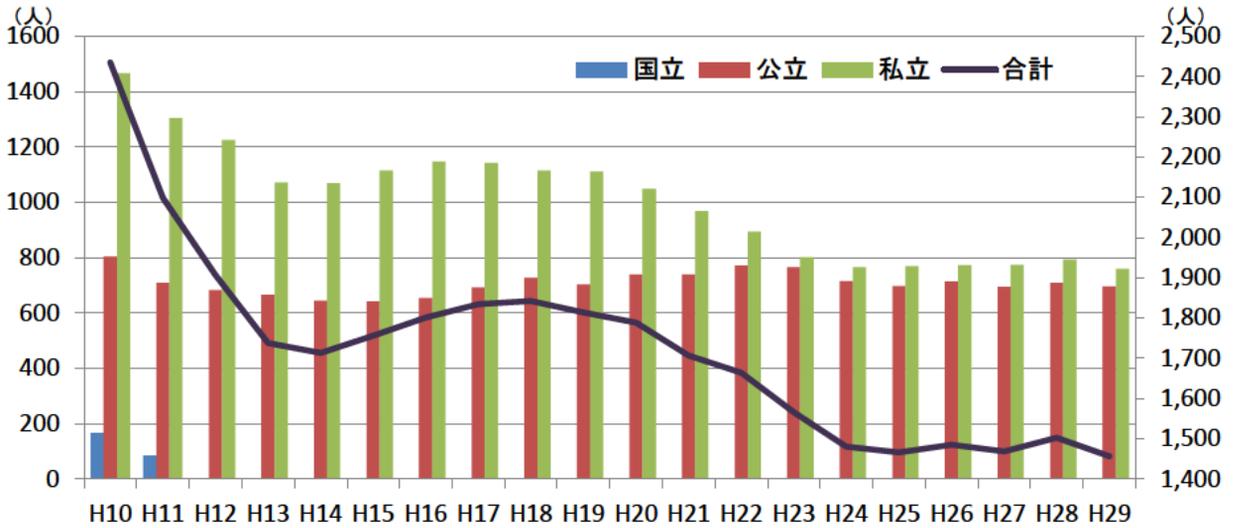
高等教育機関名	学部(学科)	H27			H28			H29		
		入学定員	入学者数	充足率	入学定員	入学者数	充足率	入学定員	入学者数	充足率
四日市大学	経済学部	80	48	60.0%	80	48	60.0%	-	-	-
	環境情報学部	80	59	73.8%	80	53	66.3%	80	74	92.5%
	総合政策学部	80	91	113.8%	80	96	120.0%	160	141	88.1%
	計	240	198	82.5%	240	197	82.1%	240	215	89.6%
四日市看護医療大学	看護学部	100	111	111.0%	100	121	121.0%	100	112	112.0%
	計	100	111	111.0%	100	121	121.0%	100	112	112.0%
鈴鹿医療科学大学	保健衛生学部	310	328	105.8%	310	315	101.6%	310	331	106.8%
	医用工学部	70	73	104.3%	70	73	104.3%	70	81	115.7%
	薬学部	100	112	112.0%	100	101	101.0%	100	109	109.0%
	看護学部	80	96	120.0%	80	90	112.5%	80	96	120.0%
	計	560	609	108.8%	560	579	103.4%	560	617	110.2%
鈴鹿大学	国際人間学部	100	77	77.0%	100	117	117.0%	100	115	115.0%
	こども教育学部	-	-	-	-	-	-	80	20	25.0%
	計	100	77	77.0%	100	117	117.0%	180	135	75.0%
皇學館大学	文学部	310	393	126.8%	310	348	112.3%	310	381	122.9%
	教育学部	210	259	123.3%	210	243	115.7%	210	252	120.0%
	現代日本社会学部	100	132	132.0%	100	114	114.0%	100	117	117.0%
	計	620	784	126.5%	620	705	113.7%	620	750	121.0%
私立大学合計	合計	1,620	1,779	109.8%	1,620	1,719	106.1%	1,700	1,829	107.6%
三重大学	人文学部	265	283	106.8%	265	276	104.2%	245	267	109.0%
	教育学部	200	209	104.5%	200	211	105.5%	200	208	104.0%
	医学部	205	205	100.0%	205	205	100.0%	205	206	100.5%
	工学部	400	415	103.8%	400	409	102.3%	400	415	103.8%
	生物資源学部	240	253	105.4%	240	252	105.0%	260	274	105.4%
	計	1,310	1,365	104.2%	1,310	1,353	103.3%	1,310	1,370	104.6%
三重県立看護大学	看護学部	100	102	102.0%	100	104	104.0%	100	100	100.0%
	計	100	102	102.0%	100	104	104.0%	100	100	100.0%
国公立大学	合計	1,410	1,467	104.0%	1,410	1,457	103.3%	1,410	1,470	104.3%
三重短期大学	法経科第1部	100	104	104.0%	100	102	102.0%	100	98	98.0%
	同・第2部	150	68	45.3%	150	86	57.3%	150	85	56.7%
	生活科学科	150	152	101.3%	150	162	108.0%	150	143	95.3%
	計	400	324	81.0%	400	350	87.5%	400	326	81.5%
鈴鹿大学短期大学部	生活コミュニケーション学専攻	40	30	75.0%	40	27	67.5%	-	-	-
	こども学専攻	90	86	95.6%	90	65	72.2%	50	35	70.0%
	食物栄養学専攻	40	42	105.0%	40	44	110.0%	40	44	110.0%
	計	170	158	92.9%	170	136	80.0%	90	79	87.8%
高田短期大学	子ども学科	150	162	108.0%	150	148	98.7%	150	161	107.3%
	キャリア育成学科	100	73	73.0%	100	100	100.0%	100	88	88.0%
	計	250	235	94.0%	250	248	99.2%	250	249	99.6%
ユマニテク短期大学	幼児保育学科	-	-	-	-	-	-	100	31	31.0%
	計	-	-	-	-	-	-	100	31	31.0%
短期大学	合計	820	717	87.4%	820	734	89.5%	840	685	81.5%
鈴鹿工業高等専門学校	機械工学科	40	41	102.5%	40	44	110.0%	40	44	110.0%
	電気電子工学科	40	48	120.0%	40	45	112.5%	40	43	107.5%
	電子情報工学科	40	42	105.0%	40	49	122.5%	40	44	110.0%
	生物応用化学科	40	41	102.5%	40	45	112.5%	40	45	112.5%
	材料工学科	40	41	102.5%	40	46	115.0%	40	41	102.5%
	計	200	213	106.5%	200	229	114.5%	200	217	108.5%
鳥羽商船高等専門学校	商船学科	40	40	100.0%	40	44	110.0%	40	41	102.5%
	電子機械工学科	40	41	102.5%	40	45	112.5%	40	41	102.5%
	制御情報工学科	40	42	105.0%	40	45	112.5%	40	46	115.0%
	計	120	123	102.5%	120	134	111.7%	120	128	106.7%
近畿大学工業高等専門学校	総合システム工学科	160	162	101.3%	160	170	106.3%	160	165	103.1%
	計	160	162	101.3%	160	170	106.3%	160	165	103.1%
高等専門学校	合計	480	498	103.8%	480	533	111.0%	480	510	106.3%
高等教育機関	全体合計	4,330	4,461	103.0%	4,330	4,443	102.6%	4,430	4,494	101.4%

3 県内高等教育機関の学生数の推移

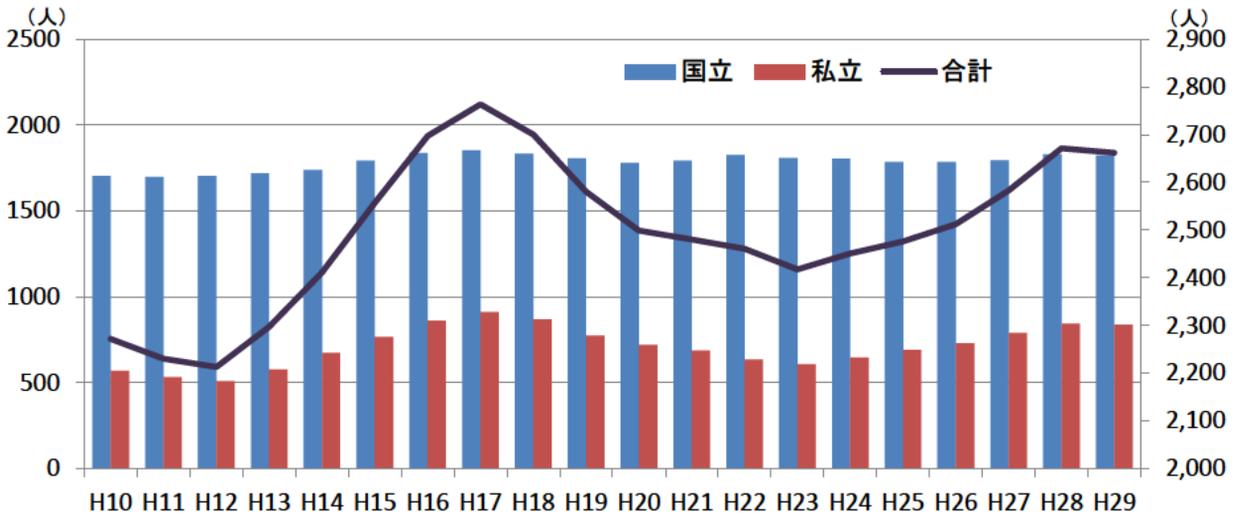
● 大学(学部)の学生数の推移



● 短期大学の学生数の推移

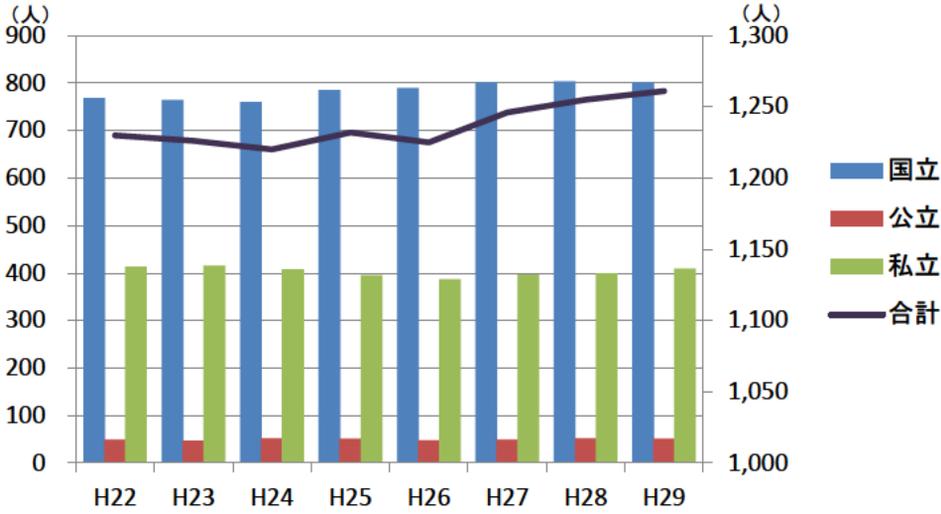


● 高等専門学校(高専)の学生数の推移

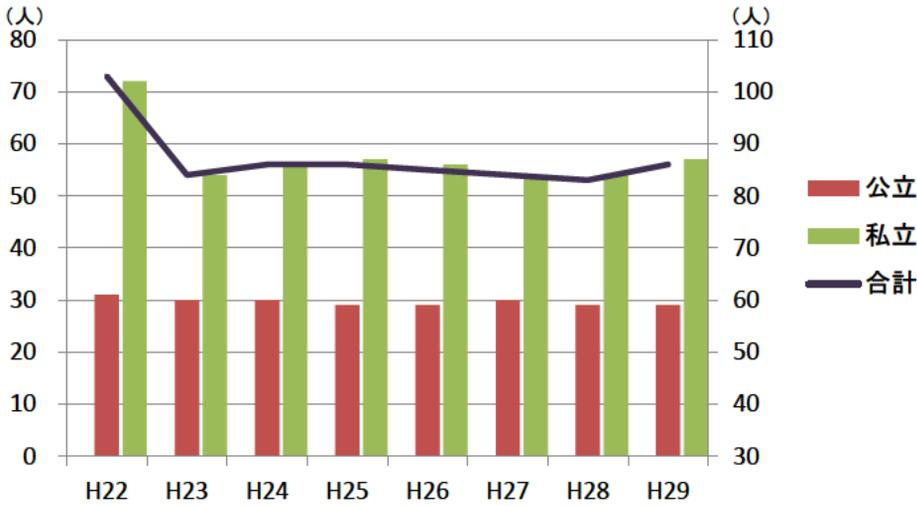


4 県内高等教育機関の教員数の推移

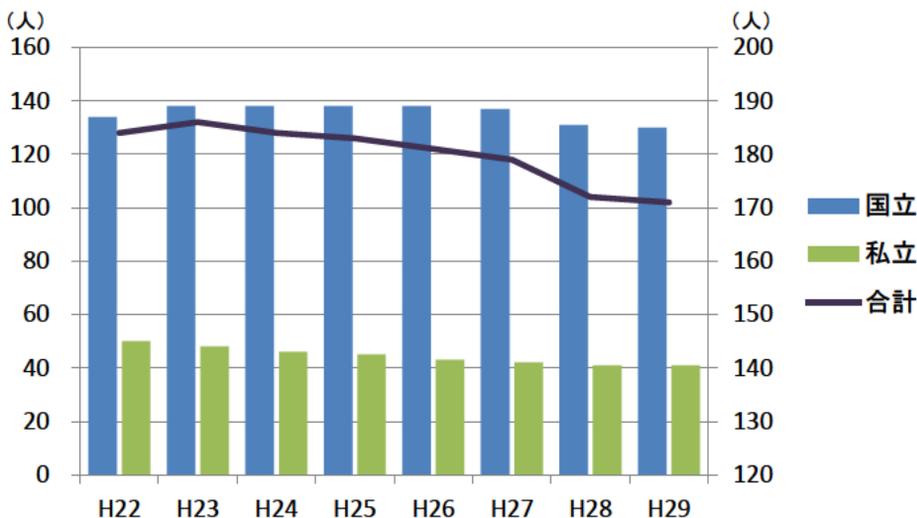
● 大学(学部)の教員数の推移



● 短期大学の教員数の推移

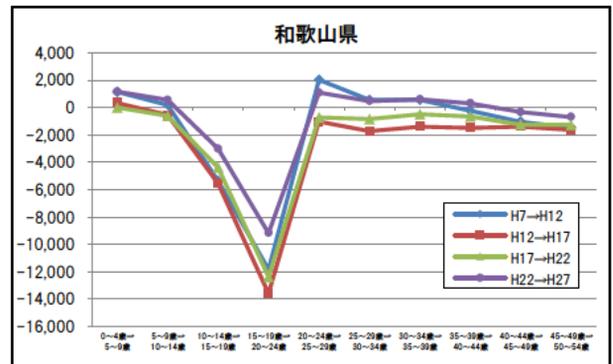
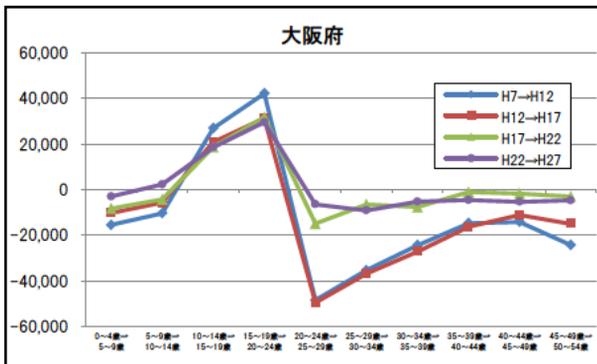
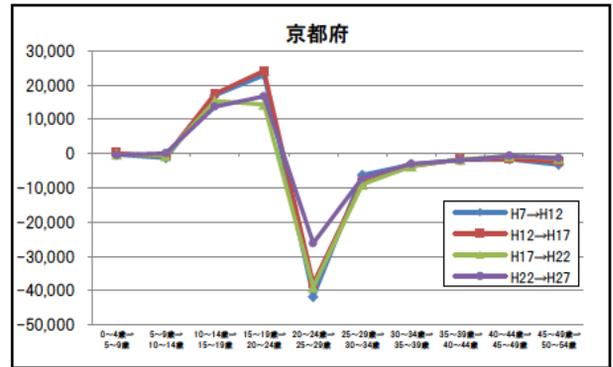
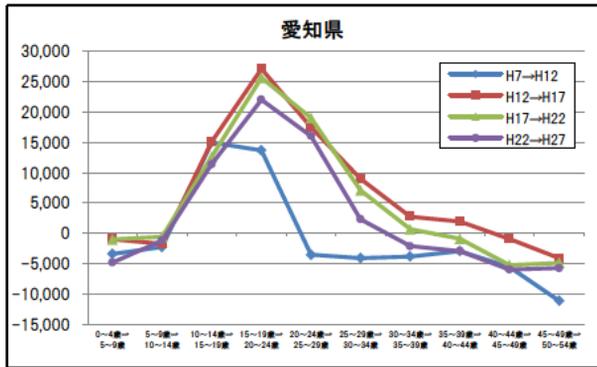
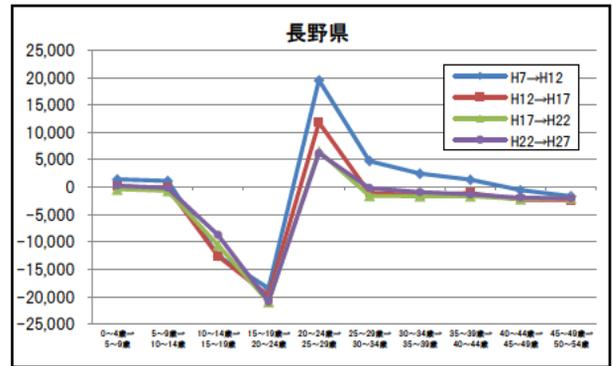
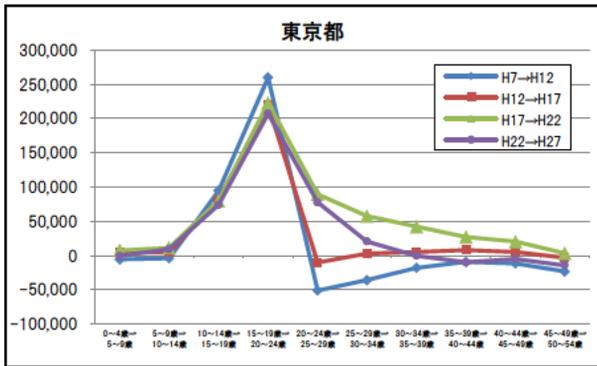
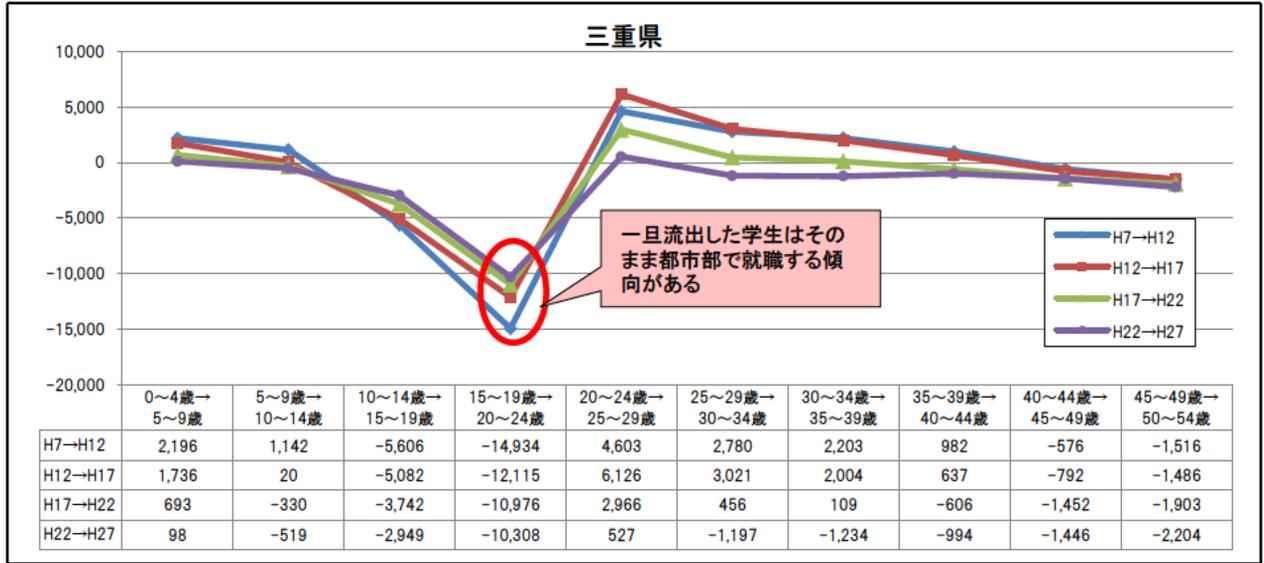


● 高等専門学校(高専)の教員数の推移



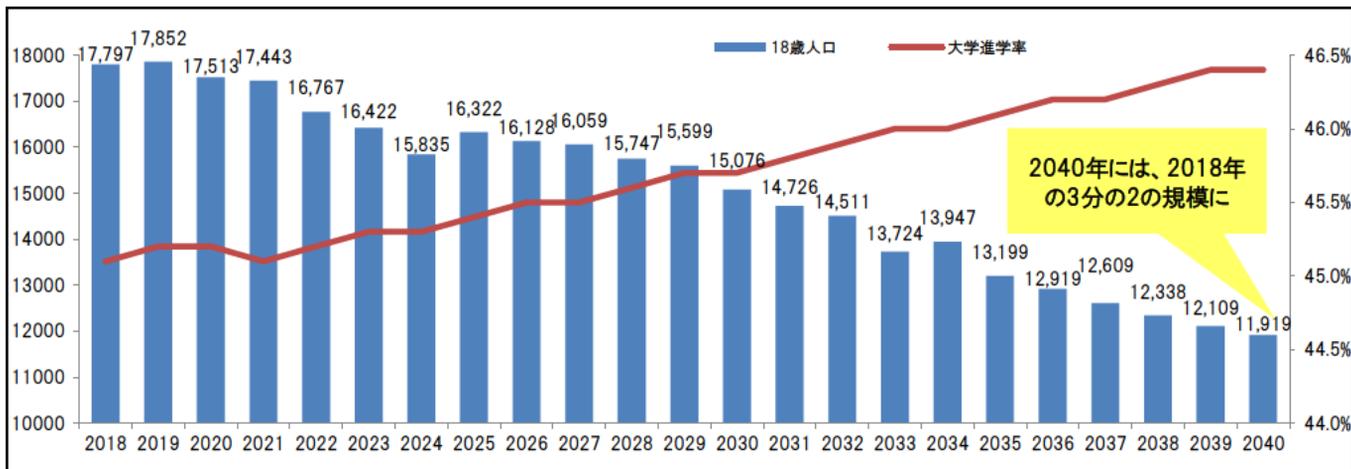
5 三重県の課題

● コーホート分析



出典：総務省「国勢調査」

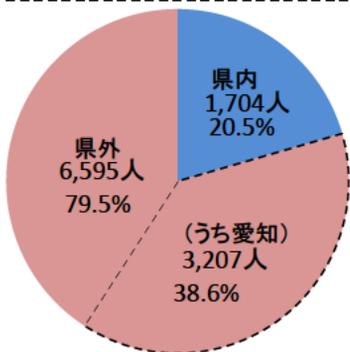
●三重県における18歳人口の将来推計



出典：①2018年～2029年…文部科学省「学校基本調査」を元に推計、②2030年～2035年…厚生労働省「人口動態統計」の出生数に生存率を乗じて推計、③2036年～2040年…国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)(出生中位・死亡中位)」を元に作成(2035年の都道府県比率で案分)、大学進学率の推計については、平成30年2月21日中教審将来構想部会の文部科学省提出資料より引用。

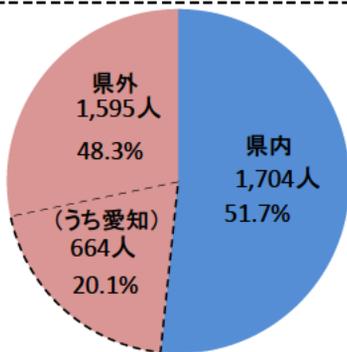
●三重県における大学への進学状況及び大学卒業生の就職状況

平成29年4月に大学に進学した県内高校卒業生のうち県内大学に進学した者の割合は20.5%



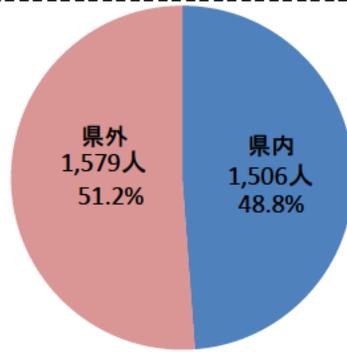
出典：文部科学省「平成29年度学校基本調査」

平成29年4月に県内大学に進学した学生のうち県内高校出身者の割合は51.7%

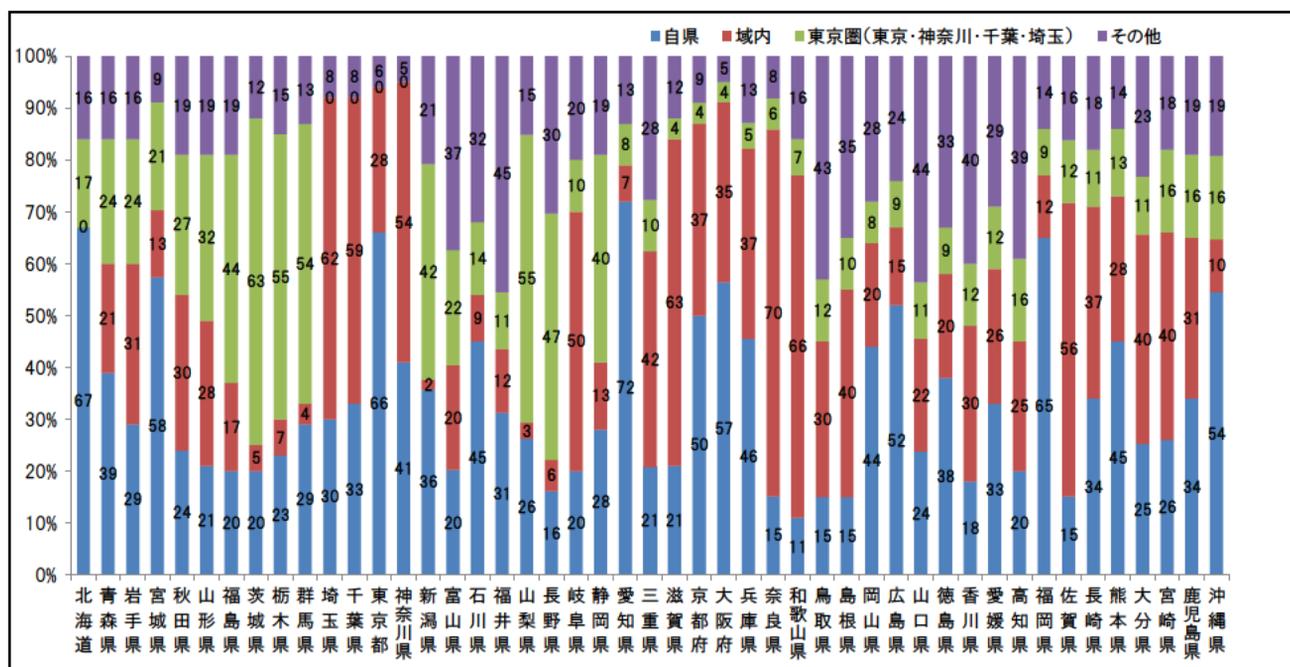


出典：三重県作成

平成29年3月に県内高等教育機関を卒業した学生のうち県内企業に就職した学生の割合は48.8%

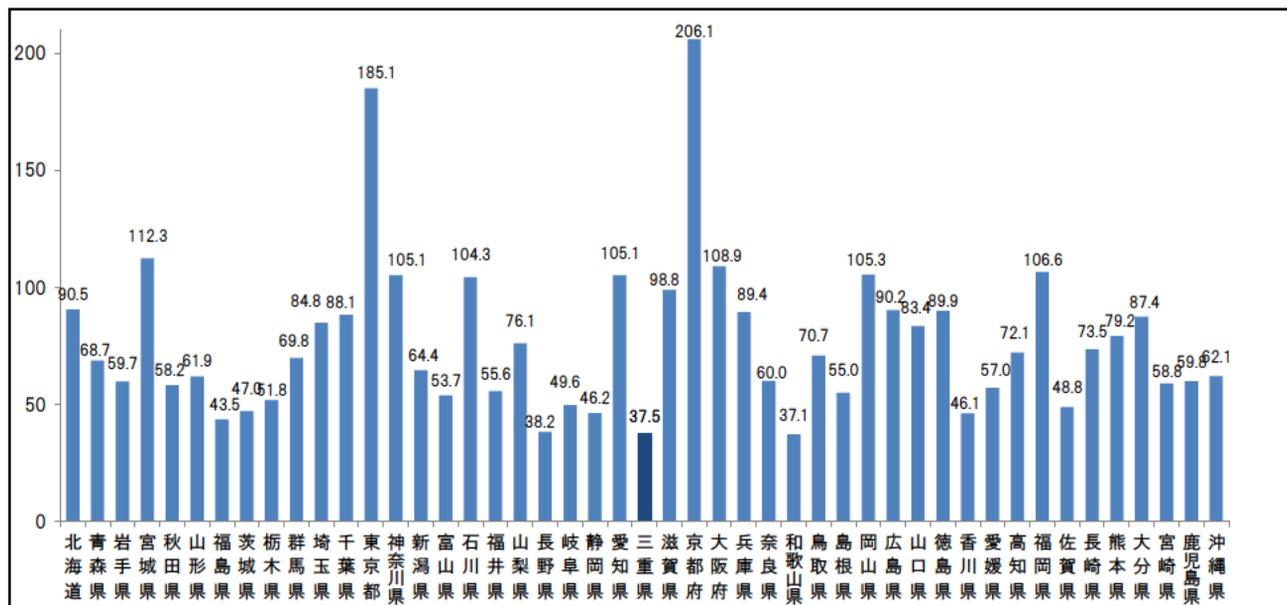


●各都道府県高卒者の大学進学先(自県・域内・東京圏・その他)(平成29年度)



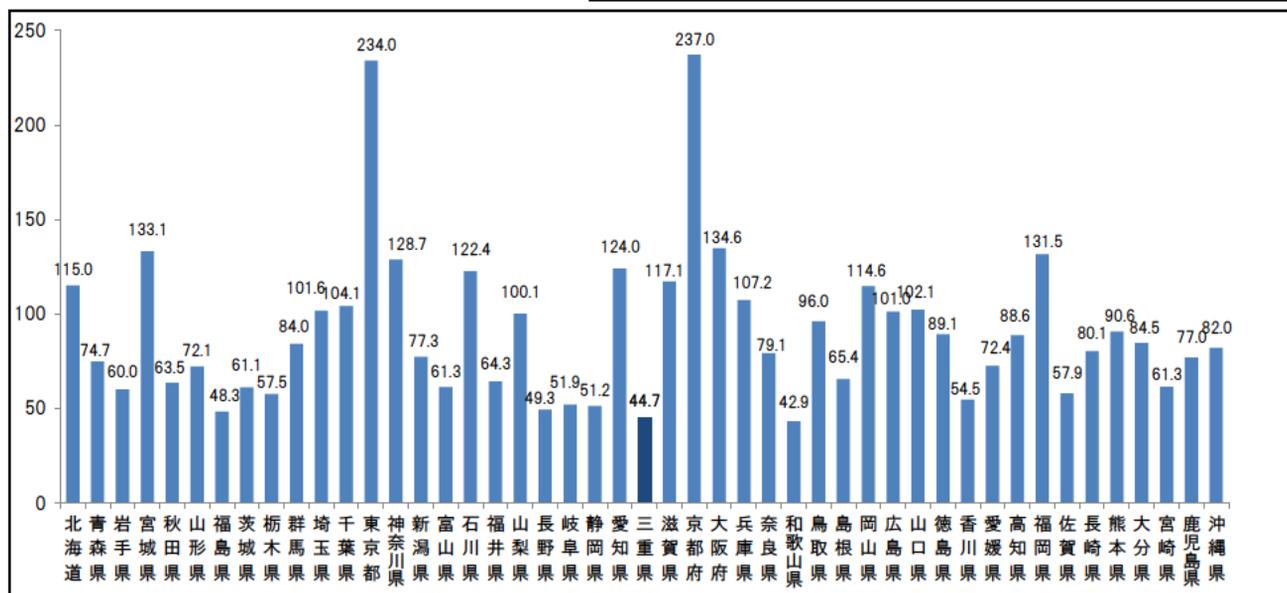
●都道府県別大学進学者収容力(平成29年度)

大学進学者収容力=大学入学定員×100/大学進学者数(過年度卒業生を含む)



●都道府県別大学収容力指数(平成29年度)

大学収容力指数=大学入学者数×100/高卒者のうち大学進学者数(前年度)

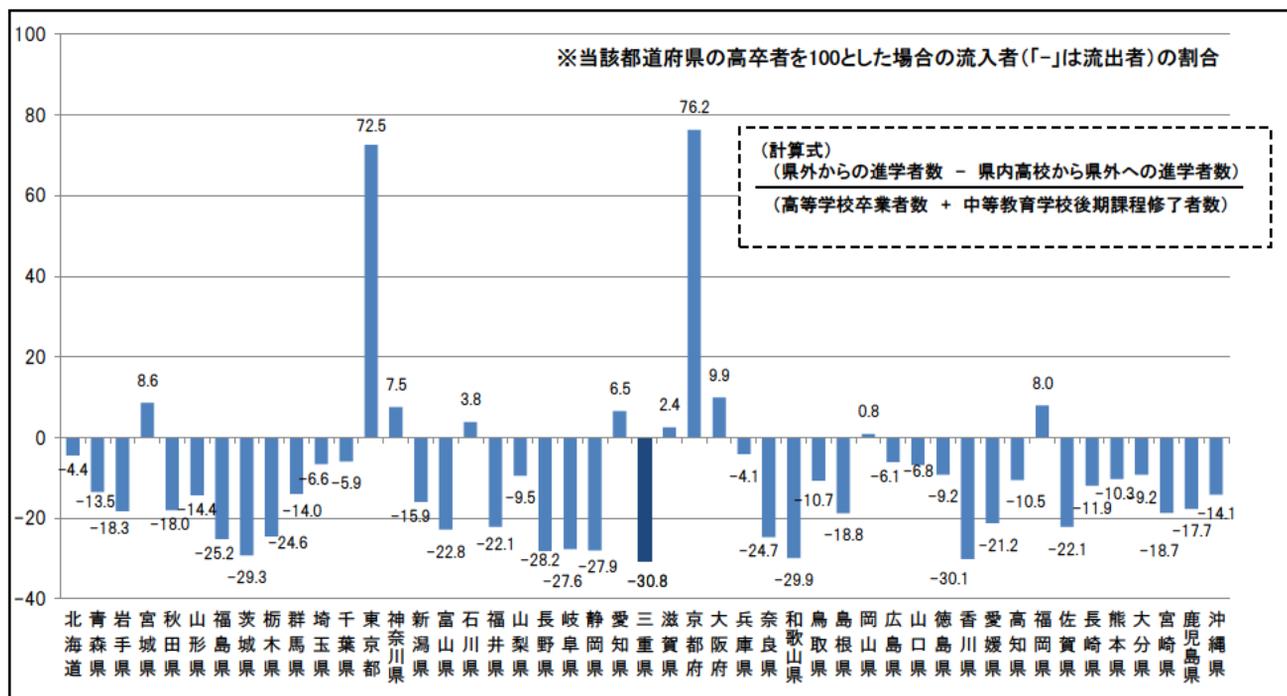


【上位・下位5都道府県】

大学収容力指数									
順位	都道府県名	上位5都道府県			順位	都道府県名	下位5都道府県		
		H17年度	H22年度	H29年度			H17年度	H22年度	H29年度
1	京都府	262.5	249.0	237.0	43	静岡県	52.9	48.4	51.5
2	東京都	249.4	237.3	234.0	44	長野県	46.8	42.9	49.3
3	大阪府	159.1	143.5	134.6	45	福島県	54.9	46.5	48.3
4	宮城県	144.9	132.2	133.1	46	三重県	44.3	42.7	44.7
5	福岡県	143.1	136.6	131.5	47	和歌山県	39.0	39.3	42.9

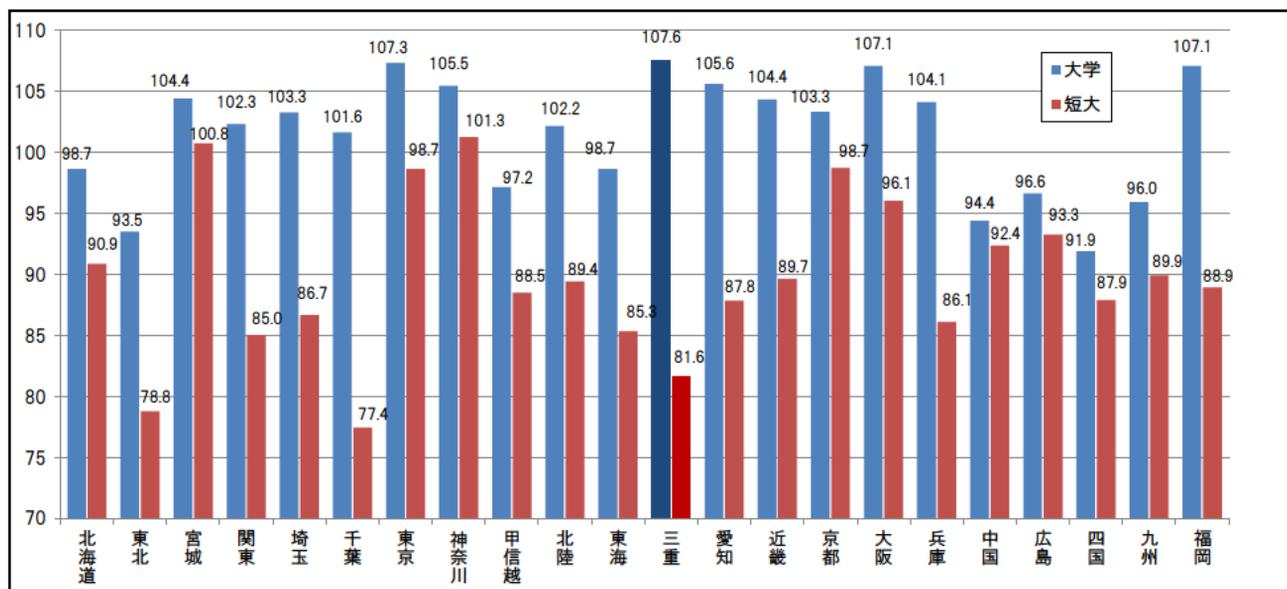
※大学収容力指数=大学入学者数×100/高卒者のうち大学進学者数(前年度)
出典:文部科学省「学校基本調査」を元に三重県作成

●大学進学時の都道府県別流入・流出率(平成29年度)



出典:文部科学省「学校基本調査」を基に三重県作成

●私立大学・短期大学の地域別の入学定員充足率(学校別)(平成29年度)

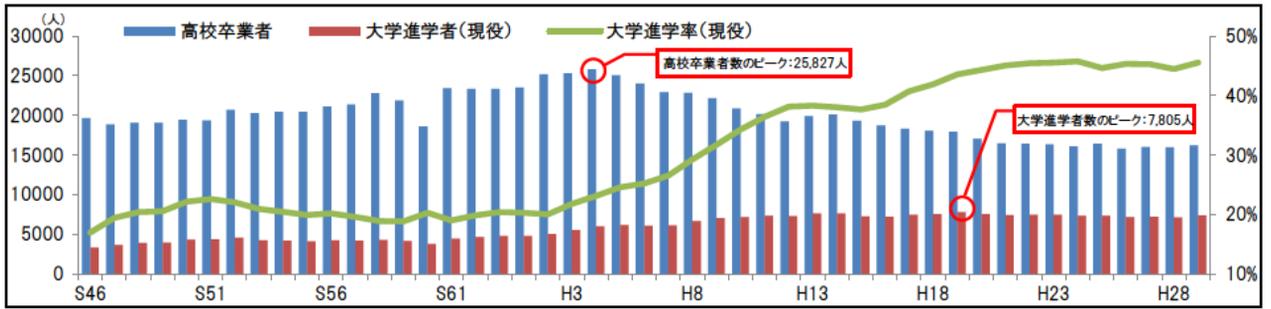


地域区分

北海道	北海道	東海	岐阜・静岡・三重
東北	青森・岩手・秋田・山形・福島	愛知	愛知
宮城	宮城	近畿	滋賀・奈良・和歌山
関東	茨城・栃木・群馬	京都	京都
埼玉	埼玉	大阪	大阪
千葉	千葉	兵庫	兵庫
東京	東京	中国	鳥取・島根・岡山・山口
神奈川	神奈川	広島	広島
甲信越	新潟・山梨・長野	四国	徳島・香川・愛媛・高知
北陸	富山・石川・福井	九州	佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄
		福岡	福岡

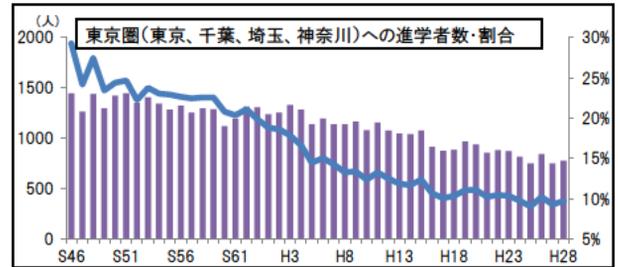
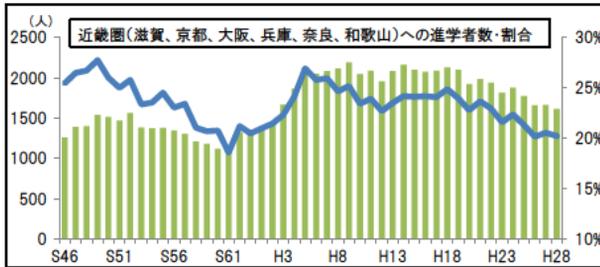
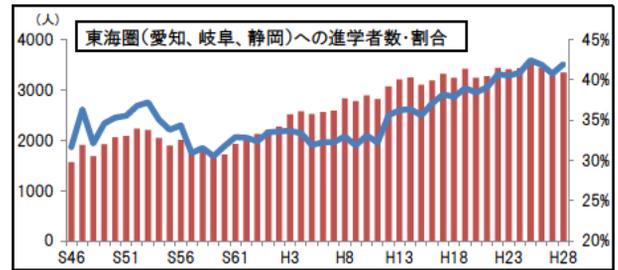
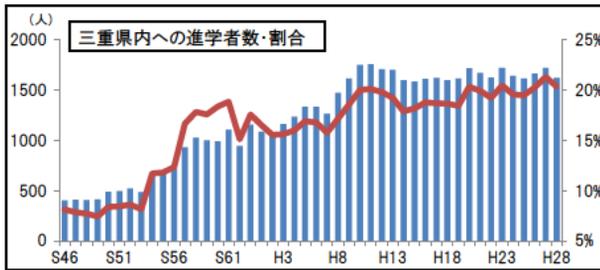
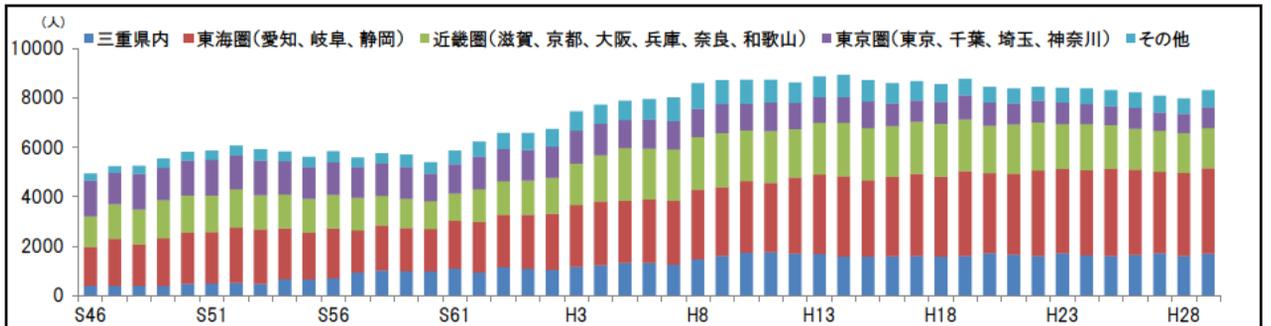
出典:地域区分「三重」を除くデータは、日本私立学校振興・共済事業団私学経営情報センター「平成28(2016)年度私立大学・短期大学等入学志願動向」を基に三重県作成。地域区分「三重」のデータは、大学・短大の公表情報を基に三重県作成。

●三重県出身者の高校卒業者数・大学(学部)進学者数(現役)・大学進学率(現役)の推移



※ 高校卒業者は平成4年を、大学進学者は平成19年をピークに減少傾向にある。
また、大学進学率は、近年45%前後で横ばい状態にある。

●三重県出身者の大学(学部)進学者数(現役以外も含む)の地域別推移



※東海圏への進学者は増加傾向、東京圏への進学者は減少傾向にある。

●三重県出身者の大学(学部)進学者数(現役以外も含む)上位5都道府県の推移

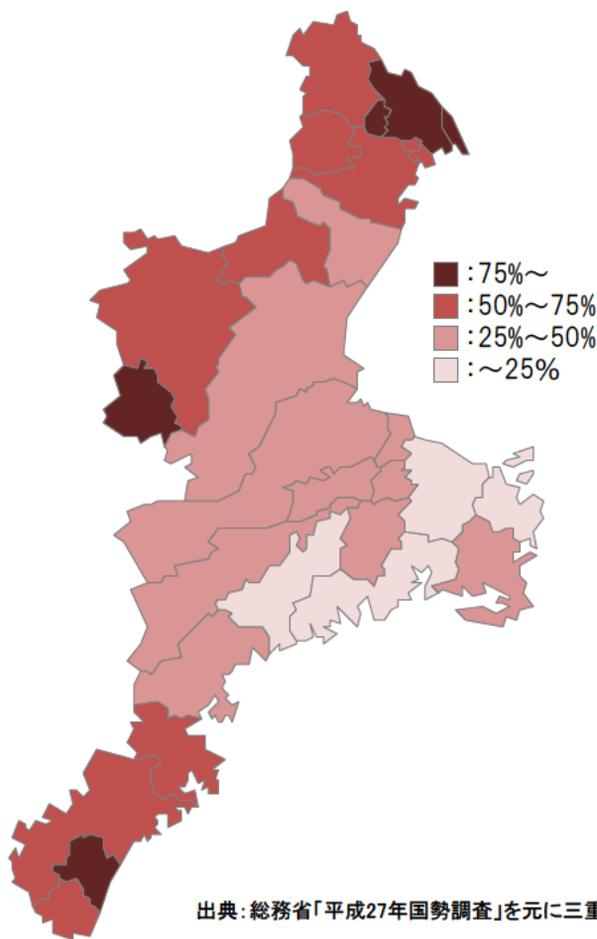
都道府県	S51年度 進学者数	都道府県	S61年度 進学者数	都道府県	H8年度 進学者数	都道府県	H18年度 進学者数	都道府県	H28年度 進学者数
1.愛知県	1,845	1.愛知県	1,747	1.愛知県	2,485	1.愛知県	3,006	1.愛知県	3,207
2.東京都	1,154	2.三重県	1,103	2.三重県	1,470	2.三重県	1,592	2.三重県	1,704
3.大阪府	642	3.東京都	741	3.大阪府	918	3.大阪府	863	3.大阪府	664
4.京都府	599	4.大阪府	464	4.京都府	677	4.京都府	659	4.東京都	523
5.三重県	495	5.京都府	419	5.東京都	631	5.東京都	521	5.京都府	498

※三重県出身者の進学先上位5都府県は変わらないが、県内への進学者は増加し、東京都への進学者は減少している。

●市町別の県外通学者割合(平成27年)

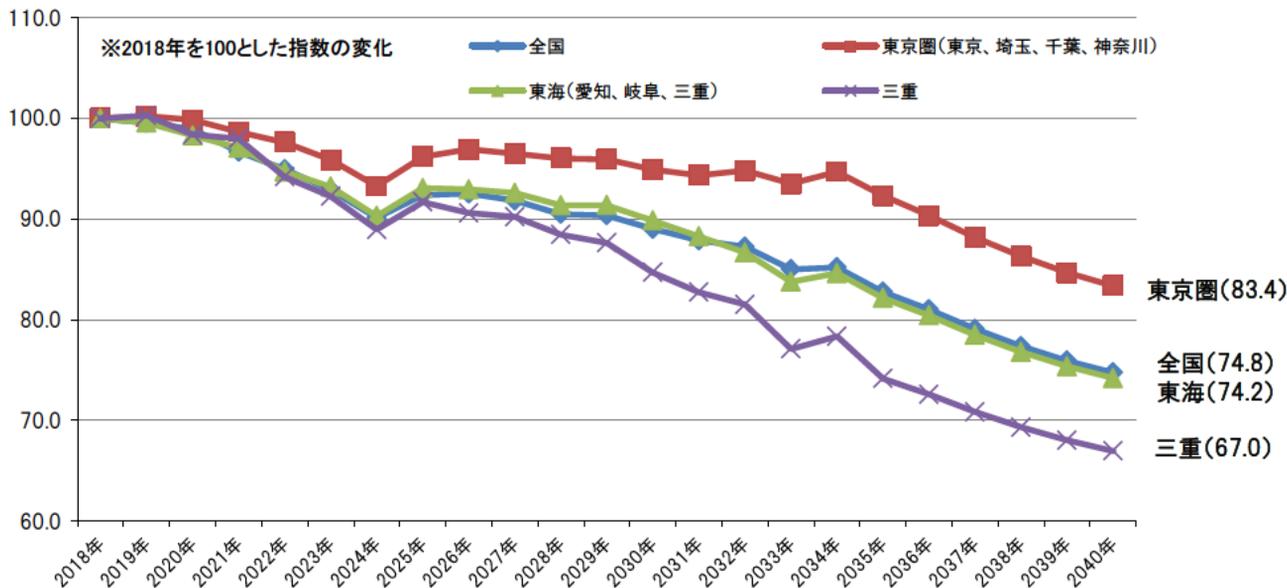
※学校(高等教育機関のほか、高等学校、予備校、専修学校も含む)に通う20～24歳の若者のうち、県外の学校に通学している者の割合

市町	通学者数	県外通学者数	県外通学者割合
県全体	14,777	7,120	48.2%
津市	3,344	977	29.2%
四日市市	2,436	1,578	64.8%
伊勢市	1,129	228	20.2%
松阪市	1,043	398	38.2%
桑名市	1,389	1,047	75.4%
鈴鹿市	1,915	816	42.6%
名張市	775	589	76.0%
尾鷲市	20	10	50.0%
亀山市	293	152	51.9%
鳥羽市	117	22	18.8%
熊野市	12	6	50.0%
いなべ市	326	203	62.3%
志摩市	165	42	25.5%
伊賀市	583	388	66.6%
木曾岬町	53	46	86.8%
東員町	182	141	77.5%
菟野町	272	174	64.0%
朝日町	75	51	68.0%
川越町	134	89	66.4%
多気町	81	26	32.1%
明和町	137	45	32.8%
大台町	40	13	32.5%
玉城町	101	36	35.6%
度会町	39	12	30.8%
大紀町	22	2	9.1%
南伊勢町	44	7	15.9%
紀北町	26	7	26.9%
御浜町	5	5	100.0%
紀宝町	19	10	52.6%



出典:総務省「平成27年国勢調査」を元に三重県作成

●18歳人口の指数推移



出典:①2018年～2029年…文部科学省「学校基本調査」を元に推計、②2030年～2035年…厚生労働省「人口動態統計」の出生数に生存率を乗じて推計、③2036年～2040年…国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)(出生中位・死亡中位)」を元に作成(2035年の都道府県比率で案分)